

(別記)

令和3年度美郷町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、仙北平野の南東部に位置し、全耕地面積に占める水田の割合が約94%で基盤整備率が約89%と進んでおり、土地利用型農業の生産性向上等を一層進めていく必要がある。

また、主食用米と技術や機械が共通して取り組みやすいことなどを背景に、近年では加工用米、備蓄米、新規需要米などの非主食用米が増加しており、転作面積の約4割を占めている。

さらに、土地利用型の畑作物のうち、大豆面積の増加が著しく、本地域の主要な転作物として位置付けている。

なお、アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト、ねぎ、ホウレンソウ、シイタケ、すいか、花き（美郷雪華を除く）、ニラ、メロンの美郷推進作物とセリ、美郷雪華、レンコンの美郷ブランド作物など本地域の水稲転作の対象品目は多岐にわたっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

施設・機械導入を支援する国・県の事業や産地交付金の県推進枠を積極的に活用し、アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト、ねぎ、ホウレンソウ、シイタケ、すいか、花き（美郷雪華を除く）、ニラ、メロンの美郷推進作物及びセリ、美郷雪華、レンコンの美郷ブランド作物を中心に作付面積の拡大を図りつつ、適切な肥培管理等の取組を普及させ、生産性を向上させていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要が年々減少する中、需要に応じた米の生産・販売を進めるとともに野菜等の高収益な畑作物の本作化を進めるため、また、単位面積当たりの生産性を高めていくためにも、畑地化による排水改善や作業効率の向上を進めていく。

営農計画書等により推進状況を把握し、点検を実施する。点検の結果を踏まえて、収益性の高い園芸作物等を中心に推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

本地域の5,900haの水田について、適地適作を基本に、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

消費者や実需者のニーズに対応した「売れる米づくり」を推進し、米の産地として作物生産の維持を図る。

(2) 備蓄米

農業関係機関、団体等との連携を強化しながら、水田の有効活用を図る。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米を転作の重点推進品目として位置付け、将来の大幅な需要拡大による作

付の拡大を見据え、農業者が取り組みやすい環境整備を進めていく。

具体的には、収量向上や低コスト生産などの栽培管理技術の確立、多収品種の導入、団地化を推進し、産地交付金も最大限活用して作付拡大を図る。

また、安定的な生産・供給される産地へ誘導するべく、複数年契約の推進を通じて、作付け拡大を図る。

イ 米粉用米

農業関係機関、団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

また、安定的な生産・供給される産地へ誘導するべく、複数年契約の推進を通じて、作付け面積を維持する。

ウ 新市場開拓用米

農業関係機関、団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

また、安定的な生産・供給される産地へ誘導するべく、複数年契約の推進を通じて、作付け拡大を図る。

エ WCS用稲

農業関係機関、団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

オ 加工用米

農業関係機関、団体等との連携を強化しながら、水田の有効活用を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

大豆については、今後とも転作の重点作物として位置付け、産地交付金等を有効活用しながら団地・集積化を推進するとともに、モミガラ補助暗渠等による排水対策や堆肥の投入等による地力増進に努めるなど、生産性向上対策の確実な導入定着を図る。

麦、飼料作物については、組織経営体による団地・集積化を推進し、農業関係機関、団体等の連携を強化しながら水田の有効活用を図る。

(5) そば、なたね

水田フル活用の観点から、不作付地を有効に活用できる作物として位置付け、地域の需要者との契約を基本として、産地交付金の活用により集積化を推進し、作付面積の維持を図る。

(6) 高収益作物

野菜・花き等については、複合経営の柱となる作物として位置付け、美郷推進作物や美郷ブランド作物の重点作物を選定し、産地交付金をはじめ、強い農業づくり交付金や夢プラン事業など、国や県の支援策を有効活用し、収益性の高い品目の作付拡大を図る。

果樹については、種なし大粒ぶどうなどを振興作物として取り組みを進める。

生薬については、町の“生薬の里 美郷”構想に基づき、生産から出荷までの一連の体制整備により、国産優良生薬の安定供給を目指す。

地力増進作物については、基盤整備事業によって整備される大区画ほ場へ、翌年度以降の作物の収益力向上を目的に、ほ場の透水性や土壌環境等の改善を期待し作付を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度 作付面積等	当年度の 作付予定面積等	令和5年度の 作付目標面積等
	(ha)	(ha)	(ha)
主食用米	3,720	3,591	3,591
備蓄米	227	195	195
飼料用米	27	30	35
米粉用米	1.3	1.4	1.5
新市場開拓用米	14	14	14
WCS用稲	115	115	115
加工用米	404	393	393
麦	1	1	1
大豆	569	580	590
飼料作物	315	315	315
・子実用とうもろこし	0	1	1
そば	1	1	1
なたね	0	1	1
高収益作物	204	212	225
・野菜	187	193	204
アスパラガス	9	9	9
えだまめ	45	47	46
キャベツ	11	11	10
きゅうり	7	8	10
トマト(ミニトマト含む)	10	10	10
ねぎ	14	14	14
ホウレンソウ	1	2	4
ずいか	4	4	5
シイタケ	1	1	2
ニラ	2	2	2
メロン	1	1	1
セリ	2	2	3
れんこん	2	2	4
その他野菜、山菜(別紙4)	77	80	84
・花き・花木	11	12	12
美郷雪華	0	1	1
花き(別紙3)	11	11	11
・果樹	4	5	6
りんご	0.7	0.8	0.9
なし	0.0	0.1	0.2
ぶどう	1.6	1.7	1.8
おうとう	0.0	0.1	0.2
もも	0.2	0.2	0.3
ブルーベリー	1.3	1.3	1.4
ブルーン	0.2	0.2	0.3
キウイフルーツ	0.0	0.1	0.2
いちじく	0.1	0.1	0.2
くり	0.1	0.1	0.2
柿	0.0	0.1	0.2
うめ	0.0	0.1	0.2
すもも	0.0	0.1	0.2
・その他の高収益作物	2	2	3
たばこ	0.0	0.1	0.3
小豆	0.1	0.1	0.2
ハトムギ	0.0	0.1	0.1
生薬(カンゾウ・キキョウ・エイジツ・センブリ)	1.8	2.0	2.0
その他	105	94	94
雑穀	0	1	1
地力増進作物(エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス)	105	93	93
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度(実績)	目標値
				(令和2年度)	(令和5年度)
1	大豆(基幹作物)	単収向上対策助成	作付面積 (交付面積) 10a当たり収穫量	569 ha (534 ha) 138kg/10a	590 ha (545ha) 190kg/10a
2	大豆(基幹作物)	大豆団地加算助成(6ha団地)	作付面積 (交付対象面積) 10aあたり収穫量	569 ha (140 ha) 138kg/10a	590 ha (150ha) 190kg/10a
3	大豆(基幹作物)	大豆団地加算助成(3ha団地)	作付面積 (交付対象面積) 10aあたり収穫量	569 ha (119ha) 138kg/10a	590 ha (130ha) 190kg/10a
4	アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト(ミニトマト含む)、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き(別紙3)、ニラ、メロン(基幹作物)	美郷推進作物助成	作付面積 (交付面積)	117 ha (79 ha)	124 ha (85 ha)
5	セリ、れんこん、美郷雪華(基幹作物)	美郷ブランド作物助成	作付面積 (交付面積)	4 ha (-)	8 ha (6ha)
6	その他野菜、山菜(別紙4)(基幹作物)	その他野菜等作付助成	作付面積 (交付面積)	77 ha (12 ha)	84 ha (13 ha)
7	アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト(ミニトマト含む)、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き(別紙3)、ニラ、メロン、セリ、れんこん、その他野菜、山菜(別紙4)、美郷雪華(基幹作物)	野菜、花き団地化加算助成	作付面積 (交付面積)	198 ha (34 ha)	216 ha (38 ha)
8	りんご、なし、ぶどう、おうとう、もも、ブルーベリー、ブルー、キウイフルーツ、いちじく、くり、柿、うめ、すもも(基幹作物)	果樹作付助成	作付面積 (交付面積)	4 ha (2 ha)	6 ha (2.5 ha)
9	たばこ、小豆、ハトムギ(基幹作物)	その他作物助成	作付面積 (交付面積)	1 ha (0.1 ha)	1 ha (0.6)
10	生薬(カンゾウ・キキョウ・エイジツ・センブリ)(基幹作物)	薬用植物作付助成	作付面積 (交付面積)	2 ha (1.8 ha)	2 ha (2.0 ha)
11	飼料用米の生産ほ場の稲わら(基幹作物)	耕畜連携助成(わら利用)	作付面積 (交付面積)	0 ha (0 ha)	1 ha (1ha)
12	飼料作物等(別紙5)(基幹作物)	耕畜連携助成(資源循環)	作付面積 (交付面積)	430 ha (34 ha)	430 ha (37 ha)
13	地力増進作物(エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス)(基幹作物)	地力増進作物作付助成	作付面積 (交付面積)	105 ha (103 ha)	93 ha (93 ha)
14	飼料用米<基幹作物>	複数年契約加算	作付面積 (交付面積)	27ha・187t <25ha・159t>	35ha・205t <31ha・182t>
14	米粉用米<基幹作物>	複数年契約加算	作付面積 (交付面積)	1.3ha・8t <1.3ha・8t>	1.5ha・9t <1.5ha・9t>
15	そば<基幹作物>	そば、なたねの作付助成	作付面積 (交付面積)	1 ha (0.2ha)	1 ha (1ha)
15	なたね<基幹作物>	そば、なたねの作付助成	作付面積 (交付面積)	2ha <0ha>	1 ha (1ha)

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。